

てんり市議会だより

今回の定例会

まほるば



2018年6月1日号 No.84 3月定例会の内容をお伝えします。

※題字については、第60回天理市展において議会議長賞を受賞された西田理恵さんにお書きいただきました。

CONTENTS

TOPIX ~特集~	2
こんなことを話し合いました	3
お金の使い道が決まりました	10
こんなことを質問しました	12
こんなことが決まりました	15

昨年の10月、静岡県磐田市、島田市で広報編集についての視察を行いました。他市の先進事例を取り込み、市民の皆さまにより議会を知ってもらえるような紙面となるよう、今後も編集してまいります。

TOPIX

特 集

●平成30年4月臨時会●

市議会の新しい体制が決まりました

4月19日に開催された臨時会において、新しい議長・副議長及び監査委員が決まりました。また、常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任を行い、新体制としてスタートしました。

【議 長】 大橋 基之

【副 議 長】 東田 匡弘

【監査委員】 市本 貴志



議長就任あいさつ

新緑の候、市民の皆さま方におかれましては、健やかに過ごしのことと存じます。平素は市議会に温かいご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、去る4月19日の市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長の要職をお預かりすることになり、身に余る光栄であるとともに職責の重大さを痛感しております。本市においても、自律的で持続的な社会をつくっていく上で、克服すべき多くの課題を抱えておりますが、先人が築き上げた文化や歴史を未来へつなげていくとともに、「共に支え合うマチ天理」を実現するため、新体制のもと、議員一同協力し合い、より一層の努力をいたす決意であります。

どうか今後とも、ご支援・ご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

議長選挙結果 (投票総数18票)

大橋 基之 17票
荻原 文明 1票

副議長選挙結果 (投票総数18票)

東田 匡弘 17票
荻原 文明 1票

委員 長 榎 樹
副委員長 中西 一喜
委員 廣井 洋司
委員 岡部 哲雄
委員 内田 智之
委員 今西 康世

経済産業委員会

委員 長 寺井 正則
副委員長 仲西 敏
委員 市本 貴志
委員 東田 匡弘
委員 飯田 和男
委員 石津 雅恵

文教厚生委員会

委員 長 三橋 保長
副委員長 荻原 文明
委員 加藤嘉久次
委員 堀田 佳照
委員 大橋 基之
委員 鳥山 淳一

総務財政委員会

常任委員会

会派の紹介

創 生 会	◎鳥山 淳一	○仲西 敏	今西 康世
清 風 会	◎飯田 和男	○内田 智之	廣井 洋司
	三橋 保長	市本 貴志	東田 匡弘
	堀田 佳照	大橋 基之	中西 一喜
		◎…幹事長	○…副幹事長
無 会 派	加藤嘉久次	岡部 哲雄	榎 樹
	寺井 正則	荻原 文明	石津 雅恵

委員 長 飯田 和男
副委員長 内田 智之
委員 市本 貴志
委員 中西 一喜
委員 石津 雅恵
委員 鳥山 淳一

議会運営委員会

こんなことを話し合いました

開会日(3月2日)
市長提案

●会期の決定

会期を3月23日までの22日間と決定しました。

●監査報告

監査委員より3件の監査報告がありました。

●報告

報告1件が上程され、原案どおり了承しました。

●承認案

承認案1件が上程され、原案どおり承認しました。

●提案説明

今議会に提出された29議案について、市長より提案説明及び新年度の施政方針演説が行われました。

再開日(3月6日)
委員会付託

●委員会付託

上程された議案のうち21議案を各常任委員会に付託し、また8会計予算については、予算審査特別委員会を設置して付託し、審査することとしました。

文教厚生委員会

・国民健康保険特別会計補正予算
ほか 計12議案を付託

経済産業委員会

・土地区画整理事業特別会計補正予算
ほか 計3議案を付託

総務財政委員会

・一般会計補正予算
ほか 計6議案を付託

予算審査特別委員会

・一般会計予算
ほか 計8議案を付託

※委員会審査の概要については、4～11Pに掲載しています。

再開日(3月16日)
一般質問

●一般質問

・ 仲西 敏 議員
・ 鳥山 淳一 議員
・ 今西 康世 議員
・ 寺井 正則 議員
・ 荻原 文明 議員

※12～14Pに要旨を掲載しています。



最終日(3月22日)
採決

●人事案件

教育委員会の教育長の任命及び監査委員の選任の同意案が上程され、それぞれ原案どおり同意しました。

●委員長報告

所管常任委員会及び予算審査特別委員会に付託されていた29議案について、各委員長より、審査の経過並びに結果の報告がありました。

●討論

5議案について、荻原議員より反対討論がありました。

●採決

29議案について、いずれも原案どおり可決しました。

●意見書

意見書1件について、提案者の説明後、原案どおり可決しました。

※議決結果については、15Pに掲載しています。

文教厚生委員会

3月7日

付託議案の審査概要

学童保育条例の一部改正について

入所児童の増加により、井戸堂第2学童保育所及び二階堂第2学童保育所を新設することに伴う名称と位置の追加、また、開所時間及び利用料金の改正をしようとするもの。

意見・要望事項

・担当職員の負担が増加することになるが、子どもたちが学童保育所で安定した時間を過ごせるよう要望。

男女共同参画プラザ条例の一部改正について

平成30年度組織機構改革に伴い、男女共同参画プラザにボランティアセンターを移設し、同施設を市民活動並びに女性の職業生活における活躍及び男女共同参画社会の促進に関する活動を支援することを目的とした市民活動交流プラザとするため、所要の改正をしようとするもの。



国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険法、国民健康保険法施行令の改正に伴い、低所得者に係る保険料軽減判定所得の拡充のため、所要の改正をしようとするもの。

反対意見

国民健康保険が財政的な困難に陥っているのは、医療費・給付費に対する国の負担を引き下げてきたというところに根本的な原因があるため、それらを改善せず、都道府県化することは考えられないことから、本議案については反対であるとの意見。

介護保険条例の一部改正について

平成30年度から平成32年度までの介護保険料の額の改定等及び重度の要介護認定者の自立に向け、新たに市町村特別給付として実施する訪問理美容サービス費の支給について、所要の改正をしようとするもの。

反対意見

これ以上の保険料の引き上げについては、被保険者の負担能力を超過しているということから、本議案については反対であるとの意見。

詳細は

天理市の
ホームページ



天理市議会



会議録の検索と閲覧

よりご覧ください



その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●堀田委員長

Q 自転車通学の安全対策、一旦停止等の指導徹底について。

A 「通学自転車について」のチラシを配布している。自転車の点検指導の徹底、夜間の反射用具等の確認を実施している。
(教委事務局次長)

Q スマートフォンのフィルタリング等、正しい使い方について。

A 「てんりスマホサミット」を通じネットリテラシー、モラル、セキュリティの徹底を図り、「家庭でのルールづくり」を周知していきたい。
(教育総合センター所長)

●鳥山副委員長

Q 朝の不登校対応はどのような取り組みをしているのか、適応指導教室の開室時間は適切か。

A 不登校支援に市単人推教員がいる学校は、家庭に登校

支援に行く。適応指導教室は、9時以降に家庭で送るか自力で来室。
(教育総合センター所長)

要望 登校支援に子育てサポートクラブの利用や保護者が送りやすいよう適応指導教室の開室を8時頃とするよう検討をお願いする。

Q 待機児童対策はどのように進められているか。

A 昨年の4月1日現在では13人、10月1日で17人。幼稚園の長時間預かり保育の活用等、早急に対応策を検討している。
(児童福祉課長)

Q 経験豊富な市単人推教員の退職年齢の緩和をお願いしたい。

A 公務員等の年齢等の引き上げ動向を注視し、人事当局と協議したい。
(教委事務局次長)

●加藤委員

Q 2020年の学習指導要

領により、小学校でも英語の授業が行われる。授業時間が増えていく中で、県内の他の市町村では、夏休みの日数を少なくしていつているところもあるが、本市の夏休みの考えは。

A 学ぶ内容が増えてきているので、授業に余裕を持たせるために夏休みを短くして、2学期を早く開始する案もあるが、子どもは、夏休みはしっかりと羽を伸ばして遊ぶことも必要だと考えている。先生方の意見も聞いて教育委員会としての判断をしたい。
(教育長)

●荻原委員

Q 給付型の奨学金創設について考えは。

A 天理市育英会奨学金を給付型にするのは難しい。
(教委事務局次長)

Q 子どもの権利条例制定についてどのようにお考えか。

A 子どもの権利条例を制定しなくても、子どものより良い成長が図られると考えている。
(教育長)

Q 障害福祉サービス利用者が65歳到達に伴い介護保険制度に移行する際の減免の実施について。

A 介護保険利用料減免の事務手続きについては各課との調整をしている。
(社会福祉課長)

Q 障害福祉計画における地域支援事業、共生型サービス、看護師配置の加算増額の実施について。

A 現在実施の任意事業以外の実施予定はない。共生型サービス目標値を設定したい。看護師加算はできない。
(社会福祉課長)

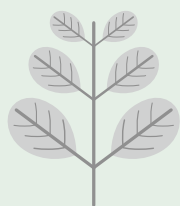
経済産業委員会

3月8日

付託議案の審査概要

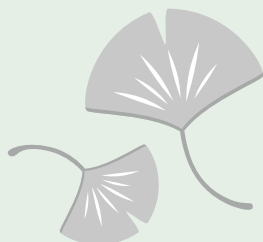
平成29年度土地区画整理
事業特別会計補正予算

移転・移設補償費の減額、
繰越金の確定等により歳入
歳出とも350万円を減額
し、歳入歳出予算の総額を
歳入歳出それぞれ3億12
00万円にしようとするも
のであり、また年度内に完
了が見込めない事業につい
て、繰越明許費を設定しよ
うとするもの。



杣之内駐車場条例の制定
について

市内の周遊観光における
利便に資することを目的と
した駐車場を杣之内町に設
置するため、条例を制定し
ようとするもの。



道路線の認定及び変更に
ついて

道路法第8条第2項及び
第10条第3項の規定に基
き、4路線の認定及び1路
線の変更をするため、議会
の議決を求めるもの。



詳細は

天理市の
ホームページ

天理市議会

会議録の検索と閲覧

よりご覧ください



議会を傍聴しませんか

本会議、各常任委員会及び議会運営委員会が傍聴できます。

市政への知識を深めることや議会の活動、市の方針などを知ることができますので、傍聴を希望される方は、本会議や委員会当日、本庁舎6階事務局までお越しください。

また、団体での傍聴を希望される方は座席の都合上、事前に事務局へお問合わせください。

なお、本会議のライブ中継及び録画中継は天理市のホームページからご覧いただけますのでご活用ください。

●問い合わせ 議会事務局

63-1001 内線603

その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●榎堀委員長

要望 それぞれの所管で把握している台風における災害箇所について、今後の復旧工事等、住民の方々を不安にさせない対応をしていただきたい。

●今西委員

Q アニマルウェルフェアについての考え方は。

A 日本も加盟国で農林水産省や県の方でも動きがあり、家畜衛生保健所や畜産会から快適な環境で育てることが畜産物の生産性・安心性につながるのだと言われているが、まずは今できることから始めていく。
(農林課長)



●Q 周辺住民等の安全確保に

向けた取り組みを推進する観点から、地震や集中豪雨によるため池の決壊リスクが増大している。中でも非常に危険な状態となっている遠田池について、今後の対応は。

A 実際は受益者が管理するのが原則。大規模破損は農林課窓口により県、国と交渉。今、危険箇所は現物支給で対応している。
(農林課長)

要望 総務省行政評価局にも申し出ている。事故の危険性がこれ以上大きくならない方法を考えていただきたい。

Q 市民団体参加型の太陽光発電を全国初で生駒市が実施。エネルギーの地産地消を行っている。本市でもできないか。次回に答弁を求める。

●中西一喜委員

Q 街路樹の整備等、行政としての対応は。また、苦情等についての状況もあわせてお聞きしたい。

A 点検もさせていただいて、歩行及び、通行が困難な場所については、対応していきたい。
(建設部長)



議会へのご意見をお寄せください

市内12ヵ所の公民館（東部・祝徳・丹波市・前栽・井戸堂・二階堂・朝和・樺本・柳本・式上・福住・山田）に「議会意見箱」を設置しています。議会活動に役立てるため、皆さんの声を聞かせてください。



総務財政委員会

3月9日

付託議案の審査概要

平成29年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億9323万円を減額。

○歳出の主な内容

・定年前早期・自己都合退職者の増加等による退職手当の増額

・国庫補助金・県補助金等の確定による精算返納金の調整

・建設事業費の調整

・各特別会計への繰出金の調整

・各種事業費の確定による事業費の調整

○歳入の主な内容

・国庫支出金

・県支出金

等

・基金繰入金
・市債等の補正

等
災害復旧事業をはじめ、年度内に完了が見込まない15事業について、繰越明許費を設定。

意見・要望事項

・ふるさと納税の返礼品として、低コストでまちの賑わいにもつなげる体験型の内容を、企画・発信されたいとの意見。
・県と連携し、周遊観光や利用者の安全対策につながるようなサイクリングロードを整備するよう要望。

行政組織条例の一部改正について

男女共同参画推進事業に加え、女性の就労や地域活動に関する支援など女性の活躍促進を図るため、くらし文化部の男女共同参画課を市長公室に移管し、女性活躍推進課に改めるため、所要の改正をしようとするもの。



詳細は

天理市の
ホームページ



天理市議会

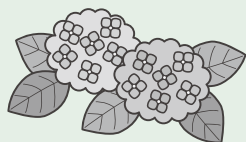


会議録の検索と閲覧

よりご覧ください

特別職の職員の給与に関する条例及び教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部改正について

市長、副市長及び教育長の給料月額について、現行の特例減額措置の期間を一年間延長するため、関係条例を改正しようとするもの。



その他の質問事項

議案以外に、市民の方に身近な事柄についても質問を行っています。その主な内容をお伝えします。

●仲西敏副委員長

Q 昨年、台風21号の水害時に庵治町住民は、二階堂養護学校が施設されて避難できなかった。今後の教訓と対策は。

A 二階堂養護学校、二階堂・添上高校と協議し、本年の出水期までに運用指針を定め対策を講じる。
(防災課長)

Q 住宅への侵入犯罪件数は。

A 31件発生。そのうち空き巣が7件、忍び込みが5件。無締まりの窓から侵入が多い。深夜パトロールを強化。ナポくんメールで、警察本部から情報発信。
(地域安全課長)

Q 職員の数及び、定数管理は業務に応じた定員配置の原則がある。行政需要の対応は。

A 正規職員573名、嘱託職員63名、臨時職員231名。各部署の業務量の把握に努め、適正な定員配置を進める。
(人事課長)

●三橋委員

Q 庁舎内では禁煙となっているが、今後の対応は。

A 建物内の喫煙は、禁止している。喫煙場所については、今後も検討していく。
(総務課長)

Q 日々雇用職員は、何十年もの間、奈良県の定める最低賃金で雇用されている。経費の削減をしている中だが、今後どのように考えているか。

A 本年度は、日額で6100円であるが来年度は100円アップする。平成32年度からの国の新たな制度の枠組みの中で、通勤手当なども含め検討していく。
(人事課長)

●寺井委員

Q 本市の業務継続計画（BCP）の策定状況は。

A 年度内策定に向け、国が示している業務手引きを参考に、また、防災の専門機関である「人と防災未来センター」

の知見を得ながら、策定はほぼ完了している。
(防災課長)

Q 業務継続計画（BCP）の具体的な内容は。

A 首長不在時の明確な代行順位及び職員の参集体制、本庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定、電気、水、食料等の確保、災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保、非常時優先業務の整理等を策定した。
(防災課長)

Q 本市の企業に対しての業務継続計画（BCP）策定支援の考えは。

A 民間等の促進は、非常に重要なことと考える。その進捗状況等も確かめて、促進の助言・アドバイス等、働きかけは行っていきたい。
(防災課長)



平成30年度予算案をチェック

お金の使い道が決まりました

再開日の3月6日に、平成30年度一般会計予算ほか7会計予算を審査するため、9人の委員からなる予算審査特別委員会を設置し、委員長に東田議員、副委員長に加藤議員が互選されました。付託された8予算案については、3月12日、予算審査特別委員会を開催し、審査しました。

予算審査特別委員会委員

◎東田 匡弘	○加藤嘉久次	三橋 保長
市本 貴志	堀田 佳照	内田 智之
大橋 基之	石津 雅恵	仲西 敏

◎…委員長 ○…副委員長

予算審査特別委員会

3月12日

にぎわい・つながり、未来を創造するまちづくりへ

一般会計予算 249億2000万円

特別会計予算 121億9900万円 企業会計予算 79億1100万円

平成30年度予算基本目標

I 地域資源と新しい技術・多様な働き方を融合し、安心・充実して働ける場を創出する

- 1 地域産業の振興・競争力強化
- 2 農業の活性化・高度化
- 3 企業の誘致・創業支援
- 4 多様な就労環境・人材マッチングによる雇用促進

- 1 地域資源を活かした観光振興
- 2 新たな交流・集客の促進
- 3 シティプロモーションの推進
- 4 移住・定住化の推進

II 天理ならではの魅力を活かし、新しい人の流れを作る

III 子どもを産み育てたい人の希望が叶う、選ばれるまちになる

- 1 安心して結婚・出産・子育てができる環境の充実
- 2 特色ある教育環境の充実
- 3 地域で育てる子育ての推進

- 1 健康を支えるシステムの充実
- 2 地域をつなぐ、暮らしやすいまちづくり
- 3 垣根を越えた連携の取組
- 4 行財政運営の効率化

IV 垣根を越えた連携・協働で、暮らしやすく、住み続けたいまちをつくる

こんな意見や要望が出ました

Q 東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致の進捗状況は。

A 柔道については、昨年12月グランドスラム大会東京を視察し、天理に縁のあるイタリアチームの監督とお話することができた。天理は非常に選手もそろっているので、できれば合宿をしたいという意向を聞いた。

要望 柔道等キャンプ地誘致にかかわって、関係団体と綿密な連携をとり、誘致を実現してもらいたい。



Q 一般介護予防事業が減額されているがその内容は。

A 昨年度はSTEP体操のDVD作成の予算を計上していたが、完成のためその分を減額した。また高齢者福祉計画を策定するにあたり計上していた予算も、計画完成に伴い減額した。

Q STEP体操のDVDの活用方法は。

A ご要望があれば配布もさせていただきます。また現在「STEP体操介護予防リーダー」という市民の方々に活動していただいているので、その活動と足並みがそろうように、DVDの活用を決めたいと考えている。



Q 産前産後サポーター事業について、ドゥーラはどのように活躍されているのか。

A ベビーサロンという形での産後の悩み相談とご家族から支援が受けられない方への家事支援を行っていただいている。

要望 今以上に多くの市民に周知を図り、子どもを産み育てやすい環境づくりをするために、広報の充実を行ってほしい。

Q 待機児童解消に向けて、平成30年度の対応は。

A 幼稚園の長時間預かり保育の活用を検討している。

要望 保育所入所待機児童解消に向けて、様々な取り組みをお願いしたい。

要望 財政全般について、歳入を増加し、歳出を抑制する抜本的な取り組みをしてもらいたい。





市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。

その主な内容をお伝えします。(12～14P)

こんなことを質問しました

※すべての質問が動画で視聴及び会議録で閲覧できます。

[天理市のホームページ](#)

[天理市議会](#)

[議会中継](#) (動画)・

[会議録の検索と閲覧](#)

一般質問

仲西 敏 議員

・学校教育の現状と課題
(次年度教育課程)

・市民会館について

鳥山 淳一 議員

・魅力のある住みよいまちづくりについて

今西 康世 議員

・インクルーシブ教育について

・ふるさと納税について
(地方自治体への寄付金の制度)

寺井 正則 議員

・「人生100年時代」を見据えて

・成年後見制度の利用促進について

・就学援助制度について

荻原 文明 議員

・フットパスによるまちづくり等について

・地域公共交通網形成計画等について

・天理市史等について

・天理市機構改革
(2018年度実施)等について



やまのべホールの駐車場について、利用者の便宜を図る。

仲西 敏 議員



一問一答

次年度教育課程の取り組み

Q 外国語活動の取組は。

A 移行措置として小学校高学年と、中学年で外国語活動を行う。

Q 外国語活動の課題は。

A 指導力の向上と指導者の確保。授業時間数の確保。指導方法の工夫。

Q 指導者の確保の内容は。

A 地域人材の活用やアシスト事業で学生ボランティアを活用している。

Q 移行期2年間の目標は。

A 各校の取り組みを検証し、天理市の外国語活動のスタイルを築いていく。

市民会館

Q 施設概要は。

A 785席の『やまのべホール』と会議室が16室の施設。平成16年に大規模改修した。

Q 利用状況は。

A 音楽活動団体の利用が際

立ち、土日・休日は、1年先まで予約が埋まっている。

Q 運営管理の状況は。

A 県内12市のうち6市が指定管理者による施設運営、本市を含む外6市が直営である。

Q ホール利用者の駐車場についての現状と考えは。

A 駐車場の整備については、利用者に応じてホールの出入り口付近の降車を運用中、今後ルールを定め、共催、後援の事業の際にも同様の運用を図る。市民会館の駐車場については、ご不便を掛けないよう誠心誠意対応する。

Q ネーミングライツで独自財源の確保を提案。

A 有効な手段として検討する。



市民会館



一問一答

魅力のある住みよいまちづくり

Q 山の辺の道の集客状況と国際芸術家村を拠点とした周辺整備・観光活性化の取り組みは。

A トレイルセンターは周辺遺跡、龍王山に来る方への情報提供拠点となっている。来場者数の月平均が例年の倍以上の1万3千人を超え、長岳寺も年間5万人を超えている。課題の駐車場確保や誘導サインも充実させたい。(市長)

Q ハイキングコース龍王山の周辺整備についての考えは。

A 地元の皆様や天理教災害救援隊の協力等で安全な登山環境の維持・向上に努めている。トイレの水源が沢水で水量不足、湯水時の工夫を早急に検討していきたい。(市長)

Q 周辺散策イベント、内山永久寺の観光スポットとしての利用は。



山の辺の道

A 内山永久寺は芸術文化エリアとして重要。本市ブランドینگ・プロデューサー服部滋樹氏とも相談していく。イベントを地域活動団体と今年度12回延べ1千名規模で行った。駅前広場、国際芸術家村と連携し賑わいに結びつけた。色々受け入れる受け皿づくりに取り組んでいる。(市長)

要望 日本遺産を目指しチャレンジをしていただきたい。

Q 昨年10月末の台風による水害の復旧状況や戸別の支援は。

A 県と協議、要望事業の被災箇所は採択見込みで6月末までの迅速な竣工を目指す。公的支援が困難な部分は、自助と共助の組み合わせが大事、今後何が可能か研究していきたい。(市長)



ふるさと納税でがっちり！



一括質問

インクルーシブ教育について

Q インクルーシブ教育についての国の動向を踏まえ、今後の特別支援教育はどうあるべきか。また、授業づくりに関する考えは。

A 障害のある子どもが他の子どもと平等に教育が受けられるよう、一人一人の特性や教育的ニーズに応じた教育内容、方法、支援体制を整えるため、保護者、医療機関、療育機関等と連携して個別指導計画、教育支援計画を作成し日々の教育活動を進めている。また自立活動、個別指導、交流、共同学習を効率的に取り混ぜ、特性や課題を把握し、日常生活全般を通し、教室環境の整備や学習活動を工夫し進めている。(教育長)

Q 寄附者と自治体の両方にメリットのあるふるさと納税についての考え方、内容について

Q 寄附者と自治体の両方にメリットのあるふるさと納税についての考え方、内容について



いてどう進めているのか。

A 自主財源の増加が難しい中、歳入を増やす大きな機会と認識。天理ならではの品目を考え厳選している。(市長)

Q 稼げるまちづくりの推進で何を商品にするか。どう付加価値をつけるか。天理にある観光資源を活かし、来た人達が各々自分の市町村に帰って天理の良さをアピールしてくれる体験型は。

A 本市らしい体験型も考え返礼品を充実させていく。

要望 小自治体で何十億もの納税収入を上げている所もある。本来の目的を基本に何を商品にするかが重要。国際芸術家村誕生に向けてポイント納税等も良いのではないかな。(市長)



一問一答

「人生100年時代」を見据えて

Q 本市の長寿化の進行状況及び健康保持増進の取組は。

A 本市の100歳以上人口は、男性4人、女性33人の合計37人。これからも、平均寿命、100歳以上人口とも、伸びていくことが予想される。健康保持増進の取組として、「健康づくりリーダー」や「介護予防リーダー」の育成、集会所などで、運動指導等を行なっている。（健康福祉部長）

Q 広島市で取り組んでいる協同労働を参考にシニア層向け就労支援の考えは。

A 具体的に研究していく。

（市長）

Q 生涯教育やリカレント教育についての考えは。

A 人生100年時代を見据えて、市民に就労や地域への貢献を後押しするための学び直しの機会を、地域の大学や各種機関と連携し、充実させながら

取り組む。（教育長）

成年後見制度の利用促進は

Q 基本計画策定の考えは。

A 近隣市町村の動向などを注視したい。（健康福祉部長）

Q 名古屋市が実施している市民後見人の養成など先進的な取組みを参考にしている。

A 先進地の取組みを参考に検討したい。（市長）

就学援助制度を拡充すべき

Q 「新入学児童生徒学用品費等」の支給額を国基準（小学校・2万4700円↓4万6000円、中学校・2万3千500円↓4万7千400円）で設定すべきと思うが。

A 他の自治体に比べ必要保護者の認定率が高く、幅広い世帯に支援を広げている。今後国や県の動向も見ながら、より有意義な就学援助制度の維持に努めたい。（教育長）



住民とともに街づくりを



一括質問

フットパスによる街づくりを

Q 地域の特色を生かした街づくりのために、フットパスマップ作りから始めることについて。

A 地域の皆様が主体的に道の価値を見つめ直し発信する機運が高まっている。フットパスの考えを生かしていきたい。（市長）

交通権の明記を

Q 地域公共交通網形成計画に交通権を明記し総合交通条例の制定を。

A 交通権は成立途上の概念であるが交通の充実は重要である。買い物困難者の増加などを踏まえ持続可能な交通網を構築したい。（市長）

天理市史編纂の準備について

Q 歴史に学び歴史を生かすために新たな天理市史編纂の担当者の設置、資料の発掘保存について

A 現時点では従来の市史を

活用していきたい。古文書、写真、資料等は文化財課で対応している。（市長）

生涯学習活動の充実を

Q 公民館を、市長部局が補助執行する機構改革が行われた。生涯学習事業を地域との調整や支援を円滑に実施する目的だが、教育委員会ではなぜできないのか。市民協働推進課の一元化は、地方自治法の解釈を逸脱しているのではないか。生涯学習と社会教育は切り離せないもので一体的に充実することが必要。

A 近年は地域の実情や住民ニーズに応じて、地域づくりの観点から地域振興等の行政と合わせて市長が一元的に掌握できるように見直しが進んでいる。これまで以上に柔軟な対応と政策間連携を図っていききたい。（市長）





こんなことが決まりました

全員賛成で可決した議案

- 報告** ・損害賠償の専決処分の報告について **承認案** ・専決処分の承認を求めることについて
- 同意案** ・教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて ・監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案** ・29年度補正予算（5会計） ・30年度予算（5会計） ・条例改正（11条例） ・条例制定（2条例）
・その他議案（1件） 計24議案
- 決議案** ・洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書について

意見が分かれた議案

- 議案** ・第6号 平成30年度天理市一般会計予算 ・第7号 平成30年度天理市国民健康保険特別会計予算
・第8号 平成30年度天理市介護保険特別会計予算 ・第21号 天理市国民健康保険条例の一部改正について
・第22号 天理市介護保険条例の一部改正について

会 派		創 生			未 来		清 風			会					無会派					
議 案	議 員	鳥山	仲西	今西	加藤嘉久次	岡部	榎堀	飯田	堀田	廣井	三橋	市本	東田	内田	大橋	中西	寺井	荻原	石津	結 果
		淳一	敏	康世		哲雄	秀樹	和男	佳照	洋司	保長	貴志	匡弘	智之	基之	一喜	正則	文明	雅恵	
議案第6号・7号 8号・21号・22号		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	○	可決

賛成…○・反対…×

※議長は表決に加わりません

反対討論

- 荻原議員：議案第6号 医療費の負担増、介護の利用料値上げ、生活保護費の切り下げ等、社会保障制度の基盤を掘り崩し、市民生活に深刻な打撃を与えています。社会保障、教育、子育て、若者への支援など、格差と貧困を是正し、市民のくらしに役立つ支出を名実ともに“予算の主役”にすることが必要です。
- 議案第7号 保険料の引き下げ、収入のない子どもの均等割保険料の減免が必要です。
- 議案第8号 市民の保険料、利用料負担を軽減するため減免制度の充実が必要です。
- 議案第21号 国保料は市民の負担限度を超えており、引き下げて市民の負担軽減を図ることが必要です。
- 議案第22号 介護保険料を引き上げようとするもので市民の負担限度を超えており引き下げて市民の負担軽減を図ることが必要です。

意見書

洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書

一昨年8月の北海道・東北豪雨や、昨年7月の九州北部豪雨など、近年、地方における中小河川の被害として、土砂の流出による河床上昇や流木等による橋梁での河道埋塞が発生しており、まさしく河床が上がっていることが洪水発生の一つの原因となっている。

しかし、これまでの都道府県及び市町村が管理する河川の流量確保のための河道掘削については、維持補修の範囲として、各々の単費予算で行われており、遅々として進んでいないのが実情であった。

そのような中、国土交通省は、今回、中小河川の豪雨対策を強化するため、全国の中小河川の緊急点検の結果を踏まえた「中小河川緊急治水対策プロジェクト」を取りまとめ、中小河川の河道掘削についても再度の氾濫防止対策の一つとして緊急対策プロジェクトに盛り込んだ。

しかし、この緊急治水対策プロジェクトは、概ね3か年の時限的措置であり、河道掘削の対策箇所についても「重要水防区間のうち、近年、洪水により被災した履歴がある区間」と限られている。

よって国においては、今回の緊急治水対策プロジェクトが、中小河川を管理する地方自治体にとって真に活用しやすい施策となるよう、下記の事項について取り組むことを強く求める。

記

- 河道掘削を含む「中小河川緊急治水対策プロジェクト」については、平成29年度補正予算で約1,300億円が盛り込まれているが、次年度以降についても、地方自治体の要望を踏まえ、十分な予算を確保すること。
- 「中小河川緊急治水対策プロジェクト」では、河道掘削の対策箇所を「重要水防区間のうち、近年、洪水により被災した履歴があり、再度の氾濫により多数の家屋や重要な施設の浸水被害が想定される区間」と限定しているが、今後は、中小河川を管理する地方自治体がより柔軟な対応ができるよう、対策箇所の拡大も含め検討すること。また、国直轄河川の河道掘削についても、周辺自治体の要望を踏まえ、必要な対策を行うこと。
- 今回の「中小河川緊急治水対策プロジェクト」は、概ね3か年の時限的措置であるが、「防災・安全交付金」を活用した中小河川の河道掘削については、恒久的な制度となるよう検討すること。

平成30年第2回天理市議会定例会 本会議・委員会日程

- 6月8日(金)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議開会
- 6月12日(火)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議再開
- 6月13日(水) 9時30分 文教厚生委員会
- 6月14日(木) 9時30分 経済産業委員会
- 6月15日(金) 9時30分 総務財政委員会
- 6月19日(火)
 - 9時00分 議会運営委員会
 - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 6月20日(水)
 - 10時00分 本会議再開 ※一般質問
- 6月22日(金)
 - 9時30分 議会運営委員会
 - 11時00分 本会議再開

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
					本会議 11:00	
10	11	12	13	14	15	16
		本会議 11:00	文教 9:30	経済 9:30	総務 9:30	
17	18	19	20	21	22	23
		本会議 10:00	本会議 10:00		本会議 11:00	
24	25	26	27	28	29	30
	(会期)					

※会 期= 6月25日(月)までの18日間

議会をスマートフォンで見られます

本会議のライブ中継及び録画中継を、
天理市ホームページからご覧いただけます。
またお手持ちのスマートフォンからもご覧いただける
ようになりました。
右のQRコードからアクセスしてご利用ください。



お詫びと訂正

本紙83号において、荻原議員の一般質問の記事中、「未利用の『私』有地に保育所を」となっておりますが、「未利用の『市』有地に保育所を」の誤りでした。お詫びして訂正します。

議会広報編集委員会

委員長	飯田 和男	副委員長	内田 智之
委員	加藤嘉久次	委員	東田 匡弘
委員	中西 一喜	委員	仲西 敏